

第6回 泉地域審議会会議録

開催日時	平成19年6月20日 15時15分～
開催場所	千丁公民館1階和室

■出席委員 13名

会長	澤田 一誠	委員	黒木 智光	委員	松本 洋子
副会長	山田 豊	委員	白石 安記	委員	山田 豊
委員	上田 希久代	委員	寺田 浩	委員	山本 實
委員	緒方 勢一	委員	中嶋 哲哉		
委員	木場 千穂子	委員	橋本 辰子		

■欠席委員 4名

委員	井上 泰子	委員	廣岡 勝信
委員	谷口 清和	委員	藤崎 英信

■出席職員

支所長	田上 高広	総務課振興係主任	岩田 剛
総務課振興係長	東坂 宰		

■傍聴者

一般傍聴者	0名	報道機関	0名
-------	----	------	----

■協議事項

1. 地域審議会の正副会長の選出について
2. 議題
 - ①地域審議会運営要領について
 - ②その他諮問機関への参加について
 - ア 八代市総合計画策定審議会委員選出
 - イ 介護保険事業計画等策定・評価審議会委員
 - ③「住民自治によるまちづくり」基本指針（素案）について
3. その他
 - 次回の開催について

- (事務局) 出席者数により本審議会が成立する旨を述べる。
- (支所長) 挨拶をなす。
- (事務局) 地域審議会の設置に関する事項の第6条第1項に基づき、正副会長を委員の互選により定める必要がある旨説明し、推薦を願う。
- (委員) 事務局案はないか問う。
- (事務局) 事務局案として、前期から引き続き地域審議会委員として尽力いただいていることから、会長に澤田一誠委員、副会長に山田豊委員を推薦したい旨説明する。
- (両委員) 今回の委員は若い人も多く、若い人の登用を望む旨発言する。
- (委員) 是非両委員にお願いしたい旨の発言が相次ぐ。
- (両委員) 承諾する。
- (事務局) 両委員に席の移動を願い、併せて挨拶を願う。
- (会長) 挨拶をなす。
- (副会長) 挨拶をなす。
- (事務局) 協議に入るが、地域審議会の設置に関する事項の第7条第4項に基づき、会長に会議を進めて頂く旨説明する。
- (会長) 地域審議会の運営要領について、事務局に説明を求める。
- (事務局) 要領に基づき、説明をなす。
- (会長) 説明に対し、質問等ないかを委員に問う。
- (委員) なし。
- (会長) その他の諮問機関への参加について、事務局へ説明を求める。
- (事務局) 総合計画策定審議会及び介護保険事業計画等策定・評価審議会の内容、今年度中の開催時期、また、両審議会への参加が各1名である旨の説明をなす。
- (会長) 推薦等はないか委員に問う。
- (委員) 継続でも可能か問う。
- (事務局) 可能である旨回答する。
- (委員) 総合計画策定審議会には、前期に引き続き谷口委員にお願いしたい旨推薦する。
- (会長) 谷口委員は欠席のため、事務局より確認願いたい旨要請する。
- (事務局) 谷口委員には承諾を受けている旨説明する。
- (委員) 介護保険事業計画等策定・評価審議会に橋本委員を推薦する。
- (会長) 橋本委員に承諾の可否を問う。
- (橋本委員) 承諾する。
- (会長) 両委員へ感謝を述べる。
- (会長) 合同会議で説明を受けた「住民自治によるまちづくり」関係について質問等ないかを委員に問う。
- (委員) 基本指針素案では根幹部分についての説明であるが、具体的な策はどう

するのか。住民の理解をどのように求めるのか問う。

(事務局) 資料2-2を説明するとともに、今後具体化し、また、住民説明会を開催していく旨説明する。

(会長) 具体例を示し、参加・体験しながら体制を整えていくことが必要である旨発言する。

(委員) 単位自治会とは現在の行政区として捉えてよいか問う。

(事務局) そうである旨回答する。

(委員) 今後、体制作りに向けたスケジュール等は示される予定はあるか問う。

(事務局) 基本的なスケジュールは示す予定である旨回答する。

(委員) 専門的な部分についての事前講習会等はできないか問う。

(事務局) 住民の中には行政職員以上の技術・技能を持った人が多数存在することを確認してもらいたい。但し、必要がある場合には協力したい旨回答する。

(委員) 住民自治組織を作った場合、現在各地区で行っている行事等との関係はどうなるのか問う。

(事務局) 現在各行政区で実施している行事等については引き続き実施し、単独の行政区ではできない部分や、効率が良くなる部分を住民自治組織で補うという形になることが予想される旨回答する。

(委員) 行政から、ある程度の財政支援も必要であると思うが、行政はどのように考えているか問う。

(事務局) 今後、財政支援のメニュー等検討する予定である旨回答する。

(委員) 地域で資金の捻出について検討することが必要である旨発言する。

(委員) 住民自治組織ができた後、それぞれの組織毎に格差が生じることになり、努力が必要である旨発言する。

(委員) 財政支援にのみ頼ってはいは、これまでと同じであり、自分たちで捻出することこそが重要である旨発言する。

(会長) 今後は、如何に住民一人ひとりが知恵を出すかが重要である旨発言する。

(会長) 他にないか問う。

(委員) なし。

(会長) その他について事務局に説明を求める。

(事務局) 次回の開催予定について、今後の各種諮問機関への選任方法について、総合計画のパブリックコメントについて説明する。

(会長) 事務局説明について、質問等ないか問う。

(委員) なし。

(会長) 第6回泉地域審議会の閉会を宣する。